


相互提案型協働事業実施報告書

平成28年4月28日

座間市長殿

団体住所 座間市入谷4-2742-15
 名称 花を咲かそうボランティアの会
 代表者氏名 会長 野島誠一 

市担当課 都市部公園緑政課

所属長 課長 高橋一三 

次のとおり報告します。

1 事業名	水と緑の風広場「観光スポット水仙花壇造り」事業
2 事業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体提案協働事業 <input type="checkbox"/> 市提案協働事業
3 選考年度	平成26年度選考 (平成27年度実施)
4 報告期間	平成27年4月1日 から 平成28年3月31日 まで
5 事業費	539,668円 (うち座間市支出分 500,000円)
6 事業概要 (事業内容等を450字以内で御記入ください。) ※詳細な報告は、別紙事業評価シートに御記入ください。	<p>ふるさとの川「相模川」の水辺の自然環境を保全し、川岸にふさわしい花と緑の景観を創出するため、座架依橋下の「水と緑の風広場」の低水位護岸を活用したラツパ水仙花壇 (約3,000㎡) 造りを平成22年3月から進めています。</p> <p>相互提案型協働事業の2年目となる今年度は、ラツパ水仙花壇の3分の2の面積が完成し、花文字のランドマーク「ZAMA」と60品種の標本用花壇が完成しました。</p> <p>市の後援と市民団体との協賛により「第6回相模川水仙まつり」を開催しました。マスコミに取り上げていただき、多くの市民が来園し花壇の規模に驚いていました。</p> <p>パークゴルフ場の整備と合わせて花と緑の景観をPR出来つつある。</p>
7 添付資料	<input checked="" type="checkbox"/> 収支決算書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業詳細報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 事業記録写真 <input checked="" type="checkbox"/> チラシなどの広報資料 <input type="checkbox"/> 作成した冊子などの資料 <input type="checkbox"/> その他 ()

相互提案型協働事業評価シート

事業名	水と緑の風広場「観光スポット水仙花壇造り」事業
-----	-------------------------

1 協働事業の成果

協働事業により設定した事業目的が達成できたか、市民ニーズに効率的、効果的に対応できたかなど、事業の成果について評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
事業の達成度	所期の目的は、十分達成できましたか。	
	事業計画を上回り十分達成できた。	水と緑の風広場において、市民の憩いの場となる水仙花壇づくりを行い、緑の拠点、市民参加の広場づくりという初期の目的が達成できた。
事業成果・効果	事業を実施したことによる成果・効果について、具体的に記入してください。	
	<p>「第6回相模川水仙まつり」を団体が主催し、イベントでは民謡や祭り囃子の市民団体の協賛を得て、開催でき、ラッパ水仙観賞に多くの市民が来園していただいた。</p> <p>1年早く東斜面の土手に水仙の花文字で「ZAMA」と描き、PR効果を高めた。</p> <p>標本用ラッパ水仙花壇は60品種を揃えることができ、完成した。</p> <p>36区画の花壇のうち24区画の球根植付けが完了した。</p> <p>ツツジ、アジサイ、水仙の花の3ゾーンに加え、マリーゴールド、ゆり、ラベンダー、ジャーマンアイリス、ざる菊等の四季の花作りに挑戦した。</p> <p>自然保護の観点から特定外来生物のオオキンケイギクの調査・駆除を実施した。</p> <p>来春、県内一のラッパ水仙10万本の花壇が来春完成。花の名所として観光スポットができる手ごたえを得た。</p>	水仙まつりの後援や、広報ざまでのPRを行う事により、市への問い合わせも多くなり、協働事業への関心度が高まった。

2 協働事業における取組

事業プロセスにおいて、計画段階から完了まで良好なパートナーシップが発揮されたかについて評価します。

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
目的・目標の共有	十分な協議や調整により、事業目的や課題に対する共通の認識を持つことができましたか。	
	協働事業2年目に入り、十分共有できた。	代表者と、打合せ調整を行うことで共通の認識が持てるようになった。

事業の進行管理	進捗状況について情報交換を行うとともに、必要に応じてスケジュール等の見直しを行うことができましたか。	
	6年目の花壇作りであり、月ごとの作業手順が決まっているので、必要に応じて情報交換をした。	進捗状況について、メール等で随時調整を行うことで、スケジュール管理ができた。
対等な関係	協働の相手として、対等な立場で協議することができましたか。	
	対等な立場で協議できた。	対等な立場で協議できた。
相互理解	相手の立場や組織の特性の違いなどを理解し、互いに補える関係が築けましたか。	
	お互いに理解し、協力できた。	概ね、理解し協力できた。

3 協働事業における役割分担

役割分担は適正であったか、役割を果たすことができたか、相乗効果を発揮することができたかなどについて評価します。

役割分担の内容	役割分担の内容を具体的に記入してください。	
	(団体の役割) ①緑化祭りやハロースタディへの参加 ②ラッパ水仙花壇の維持管理 ③標本用ラッパ水仙花壇作り ④花文字のランドマークづくり ⑤ラッパ水仙まつりの開催 ⑥ラッパ水仙観賞会の送迎バスの運行 ⑦夏はマリーゴールドの花壇づくり ⑧オオキンケイ菊の調査・駆除	(市の役割) ①広報ざまによる水仙花壇やマリーゴールド花壇のPR ②緑化祭り、ハロースタディへの参加のためのPR資料作成 ③ラッパ水仙見学研修会のサポート ④河川管理者との調整 ⑤協働事業場所の堆積物等の除去作業

項目	【団体の自己評価】	【市の自己評価】
適正さ	役割分担は適正なものでしたか。	
	妥当と思われる。	活動団体で行えない部分を、市が行っており適正なものである。
実施結果	設定した役割分担を果すことができましたか。	
	すべて達成できた。	事業を進める中で、設定していた役割を調整しながら行い、2年目はラッパ水仙まつりの後援を行い、広報でのPRをすることができた。
協働による効果	それぞれが単独で実施する以上の成果を上げることができましたか。	
	雑草に覆われ、忘れられていた相模川河川広場が、緑豊かな広場に再生できたこと。	市内外からの関心も高まり、水と緑の風広場をPRすることができた。

4 今後の具体的な展開

事業の波及効果	今後、実施事業をどのような形で展開していくことが望ましいと思いますか。	
	<p>(団体の考え)</p> <p>水と緑の風広場 2.2ha 全体の景観を更に向上させて、県内一のラッパ水仙の名所とパークゴルフを楽しむ市民の憩いの場に育て、シティプロモーションを推進したい。</p>	<p>(市の考え)</p> <p>市民協働で、水と緑の風広場を緑の拠点づくりに努める</p>